

2018年(平成30年)8月14日(火曜日)

三島駅再開発 問題点は？

三島市が進めるJR三島駅南口東街区の再開発事業の問題点を考えるシンポジウムが十二日、同市一番町の三島商工会議所で開かれた。十二月九日告示、十六日投開票の三島市長選に立候補を表明している新人二人が出席し、市民合意や財政などの観点から事業を批判した。

(杉原雄介)

商議所でシンポ

出席したのは、県議宮沢正美氏(六七)と会社役員石井真人氏(三七)。事業を推進し、二選を目指して出馬表明している現職の豊岡武士氏(七五)は欠席した。

事業では二〇二五年一月ごろまでに、東街区の一・三秒に



三島市が進める再開発事業を批判する宮沢正美氏(左)と石井真人氏(左から二回目)ら三島市で

12月市長選 現職不在 2予定者訴え

高層マンションや商業施設などを整備予定。市は総事業費二百二十億円のうち二十億円を負担するほか、事業費と別に駐車場の取得費など三十一億円を支出するとしている。

宮沢氏は「事業は市民合意が得られてなく、県や国との協議も不足しているから実現性が乏しい」と指摘。「広域的な交通結節点としての機能を取り入れた整備をするべきだ。市民を加えた協議会の設置も必要」と訴えた。

石井氏は「市は人口も税収も減っているのに、事業の資金計画を甘く見積もっている」と主張。「三島駅の南北自由通路建設や市役所庁舎の建て替えなど、本当に必要なことにお金を使わなければならない」と意見を述べた。

シンポは再開発事業に反対する「三島駅南口の整備を考える市民の会」が主催し、約二百五十人が来場した。